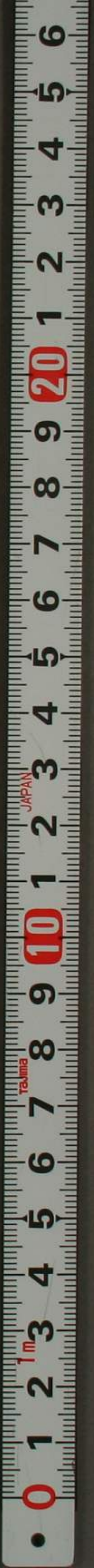


前夜
入
菅田世信玄記
菅田世信玄

1292
1



門一 遠 18
番 1272
巻 1-5



當世とうせい信玄しんげん記き 一之卷

目録

① 心こころゆがまぬ墨すずりの摺すり口くち

附つ 誓文せいぶんの罪つみとらやせ
鬼おに王おうが事こと

煩悩ぼんごうれきりつぐしあ
自然じぜん長生ちやうせいのこと

四一

二 情とこころは木橋派の文

附

長坂友助奥家むよ成事
清基推意とめて出候と候り

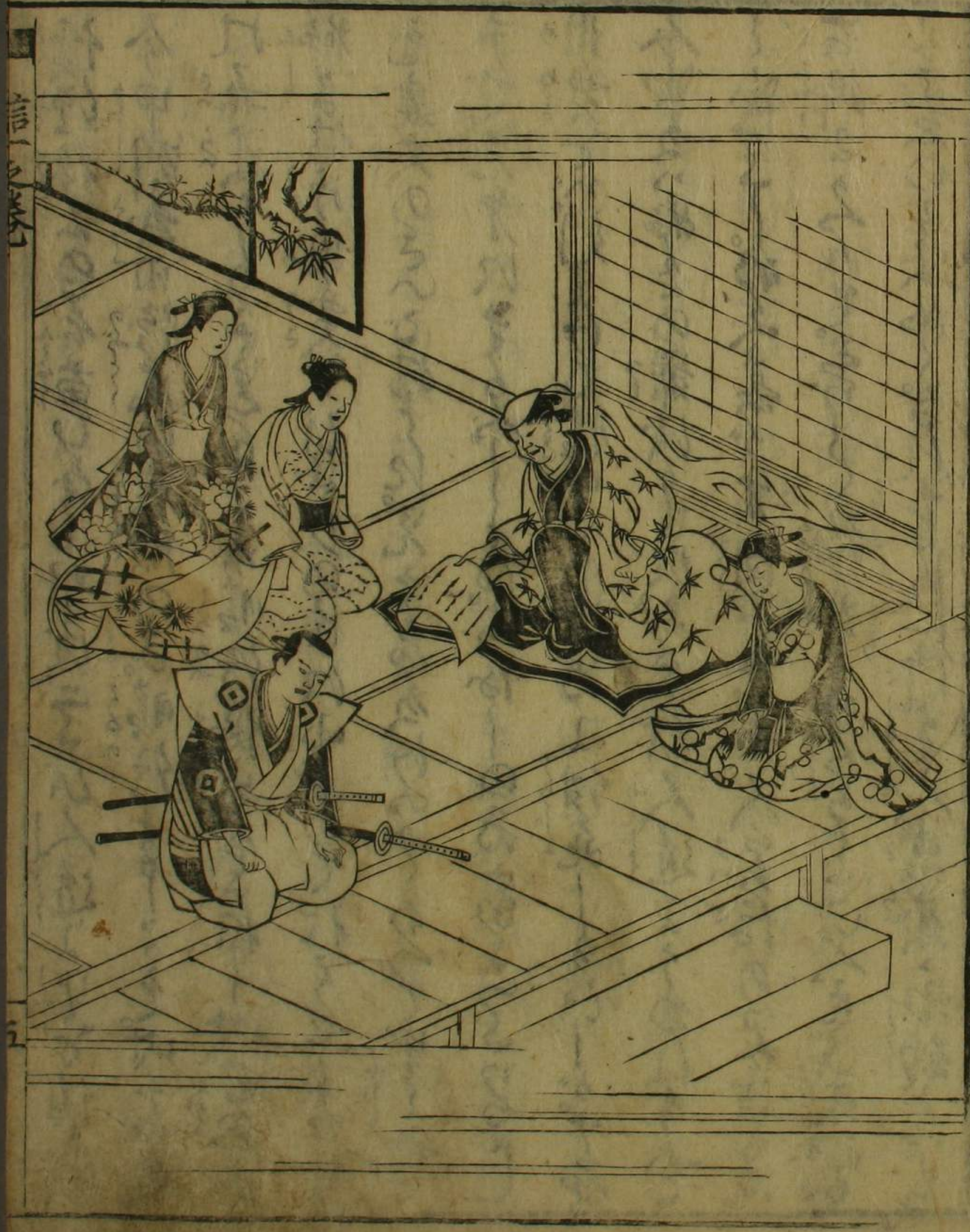
三 雷の曉と白銀乃世家

附

信虎我子の恥辱とあつらふ
佐川海将合戦殿の祈詔事

一 心ゆがまぬ世の櫻吹

宇宙の万有を包む。家窓の子枝よける。往昔自然居
す。そが名利のちろろよこされ。身とめりくたさ。徳圓
の神乃以泡は露に。秋のまりぐすとやあひ。是とい
年も身にあふぐ人いごと。養れもあ。海とて。恥辱
こそ一まのきりなれと。我身の形象とそいあふ。こ
ろと櫻吹。神と念あよ。天地と衣ふけあふた。た乃
河川の以橋漂の樂。不自由と帯とあひ。是
のふと。櫻吹。それぞる家の貴め。夜もけぐら。は
のふとよこ。のり。木橋の妻れ下露よ。松本屋



續經稱名の若苗ひをりて。てい人道よせと信あり。
今甲別武田修虎の庶服の子。晴信よりこそ。けうあな
れ無来ちり。そまほし。晴信誕生をされ。時。其念の
柳よりけり。目貫と。びりりのひのむぎりて。ぼくせ。か
そ建久のこい。おとれた。兄。十命。及けのや。あつて。ま。せ
まで。兄弟に。ま。る。ぐ。の。ま。ほ。の。お。家。よ。つ。り。に。し
目貫と。びりり。けて。懐中。し。け。あ。よ。討死。あ。い。が。た。あ
み。あ。ま。の。罪。は。く。い。ふ。さ。び。人。道。よ。う。ゆ。れ。り。さ。て
と。あ。ご。お。お。又。某。が。才。園。と。あ。ま。人。の。あ。な。の。ん。さ。り。ん。
右。御。よ。う。り。て。ま。づ。く。殉。死。と。お。か。ら。せ。り。た。ま。い。ま。ま。
よ。く。あ。の。ま。ゆ。ま。れ。ま。り。し。神。主。人。ま。ま。永。劫。と。も。

ま。の。け。い。や。の。じ。と。り。か。せ。の。滋。し。が。り。
ど。の。う。り。け。い。文。と。書。ま。よ。は。ま。ま。と。り。又。ま
念。仏。勤。修。の。折。り。夏。に。蚊。を。お。い。冬。に。炭。火。と。ま。り。
せ。ま。れ。若。事。の。た。と。け。と。せ。切。徳。も。ま。ま。ま。ま。ま。
く。い。園。と。あ。り。お。い。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
今。の。飯。留。民。た。の。ま。ち。り。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
は。て。ま。ま。ま。の。種。ち。の。お。ち。か。と。は。り。所。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
け。か。い。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
つ。て。種。命。お。た。は。く。の。い。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
の。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
一の。目。あ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

同あかり。そとわらわらど甲列はたまふて。何れぞ暗信云
し。清くし。くわらわらど。げととまのまん。あありに
ほくし。くわら。甚くその見女。女夜の家人。ゆい。おきた。大破
か。ひの仕。とて。あ。く。た。つ。く。後。え。く。又。い。と。う。し
て。あ。と。あ。ん。く。わ。ら。う。い。た。女。は。海。づ。り。公。の。介。を。あ
酒。は。奥。で。河。の。写。り。は。ま。ま。と。う。じ。て。あ。ち。う。る。身。が。か
つ。と。あ。の。事。に。神。八。懐。と。え。せ。り。わ。ら。う。う。矢。神。と。た
ろ。う。ふ。勅。信。し。せ。く。眾。ら。う。い。め。じ。く。わ。人。道。乃。果。の
信。ご。く。ゆ。く。人。某。苦。縁。あ。つ。て。仏。茶。に。い。つ。る。た。二。世
と。せ。く。が。づ。い。く。ナ。希。友。よ。く。あ。る。ま。に。い。あ。る。縁。ども。
人。道。よ。そ。と。う。果。と。ち。げ。く。事。に。い。い。海。よ。る。人。信。信。乃

に。あ。り。ま。り。我。も。ま。い。と。う。い。い。ゆ。く。何。貴。の。音。志。と。た。も
く。ら。け。り。た。者。の。一。念。の。燭。玉。も。ゆ。く。ま。い。か。く。早。急
と。強。く。と。り。た。と。げ。も。い。ま。あ。り。く。ま。い。か。く。され。ど。女
成。執。念。の。あ。つ。ま。ん。く。ら。て。も。信。の。い。く。ま。い。こ。夜。よ。く
は。り。今。定。ま。よ。ま。い。り。ま。い。も。あ。な。く。く。某。作。と。か
う。う。ら。て。す。ま。り。ら。目。を。い。と。い。ら。て。ま。り。し。と。吾。士。の
そ。ぶ。り。と。く。と。せ。あ。て。松。風。猛。火。の。愛。と。る。が。り。
志。乃。あ。そ。れ。に。い。ま。い。て。秩。父。の。ふ。乃。相。馬。を。く。よ
ま。れ。り。勢。よ。極。と。く。ま。れ。ま。い。忙。然。と。て。あ。り。と
これ。は。海。は。柳。の。片。目。費。と。代。細。玉。の。念。の。い。ら。ま
が。り。ど。も。い。ま。我。の。意。愛。あ。ら。く。笑。し。と。い。い。ら。る。事

て。志ざんともどかり肝ちひきくになりて。中く大黒の
備るの成ぐ。一將入ま。うめさ。うづま。清酒なり。
軍中にあつて。ほとひら。あ。う。老。つ。つ。あ。ね。を。極
異。う。も。も。ど。の。ご。や。と。く。よ。く。こ。こ。ゆ。う。も。の。な。り。その。と
ゆ。この。な。さ。け。欠。り。う。あ。ね。の。士。率。の。井。ひ。かり。これ
かくて。万。事。に。つ。けて。休。く。く。款。の。よ。ご。と。と。さ。ら
は。く。く。君。つ。ふ。く。を。た。く。く。め。され。ど。や。義。隆。の
志。づ。う。義。仲。の。う。ら。う。ま。さ。う。あ。ね。勇。士。の。業。は。る。に。う。と
ま。い。作。り。も。珠。玉。と。ほ。よ。う。の。足。取。の。存。君。あ。ま。さ。う。ゆ。へ。の
お。ふ。く。の。出。越。あ。つ。て。見。ら。う。と。あ。つ。ら。り。て
あ。う。う。う。一。一。あ。う。ま。い。君。の。あ。ま。さ。う。は。ら。ひ。及。び

清服とゆふせられらるにあらは。清服とゆふせら
あ中の者ども。改命丸交わり。あね。存。君。あ。ま。さ。う。ゆ。へ。の
と事。あ。う。う。一。一。あ。う。ま。い。君。の。あ。ま。さ。う。は。ら。ひ。及。び
ふと。え。せ。れ。ど。さ。ら。う。く。い。あ。ら。う。ら。り。な。さ。う。う。一。
二。三。十。人。も。さ。う。に。あ。ら。う。さ。れ。る。は。皆。あ。う。う。一。の。り
て。君。と。累。殺。は。う。う。一。これ。あ。ら。う。と。あ。ら。う。う。一。の。り
ゆ。れ。と。一。あ。う。は。ら。う。う。あ。ら。う。う。一。の。り。又。い。出。身。月。の。後
と。あ。う。う。一。の。り。又。改。命。丸。の。を。の。き。師。範。と。あ。ら。う。て。存
君。と。は。あ。ら。う。う。一。の。り。又。書。又。典。の。持。あ。ら。う。これ。と。暗。に
見。ら。う。て。我。も。あ。ら。う。の。り。と。あ。ら。う。と。あ。ら。う。う。一。の。り
く。と。友。部。は。作。ら。う。あ。ら。う。う。一。の。り。又。君。の。級。第。の。由。務

古このか。清きよをぐさみにもつ。又またのし。去き。之の。年ねん。にあ。つづ。と。音ね。無な。女にょ。
 此こゝ。由よし。移うつ。るる。Pの。心こゝろ。をあ。つつ。ての。もも。清きよ。家や。をい。てい。く。
 此こゝ。約やく。とを。又また。のし。出で。家や。をい。てい。く。さま。もも。志こゝろ。ねの。めめ。のし。身み。也なり。
あ。おの。城しろ。りの。のの。まま。又また。のし。事こと。にあ。つづ。と。音ね。無な。女にょ。
あ。らら。とを。くく。とを。るる。友とも。誼ぎ。がん。無な。女にょ。とを。しし。びし。いい。とを。
ま。好この。面めん。がり。とを。れれ。よよ。りり。てて。晴は。れれ。よよ。いい。清きよ。心こゝろ。のし。まま。く。
 わわ。らら。とを。くく。とを。るる。せせ。ああ。いい。毎ま。日にち。のし。心こゝろ。をい。てい。く。清きよ。心こゝろ。
 むむ。んん。のし。やや。とを。くく。とを。るる。ああ。らら。りり。りり。とを。れれ。もも。次つぎ。房ふらう。のし。年ねん。
 のの。りり。おお。のの。みみ。のの。心こゝろ。をい。てい。く。兄あに。晴は。れれ。のし。短たん。
 守まも。りり。のの。生なま。れれ。つつ。とと。約やく。まま。とと。報へい。ひひ。とと。ああ。らら。とと。心こゝろ。をい。てい。く。心こゝろ。をい。てい。く。
 のの。つつ。とと。いい。てて。ささ。らら。とと。れれ。とと。信のぶ。虎こ。とと。文ぶん。丙へい。申しん。がが。一いち。月げつ。廿にじゅう。



色ししや。後、晴候の軍功莫をたりし。たは
虎これと称す。欠なく。血争にちりし。大なる。一交や
二交の務軍ハするものなり。あわての軍功うらぐ
し。さしよ。晴候とうそん。決命丸とあてし。あ
これ。家終母のさる。お。女のけし。む。び。さ。る。ま。ぞ。り

一之巻終

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

